

## 2023年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年5月15日

上場会社名	株式会社ジョイフル	上場取引所	福
コード番号	9942	URL	http://www.joyfull.co.jp
代表者	(役職名)代表取締役社長	(氏名)穴見 くるみ	
問合せ先責任者	(役職名)取締役管理本部長	(氏名)野島 豊	(TEL)097-551-7131
四半期報告書提出予定日	2023年5月15日	配当支払開始予定日	—
四半期決算補足説明資料作成の有無	: 無		
四半期決算説明会開催の有無	: 無		

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年6月期第3四半期の連結業績(2022年7月1日~2023年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年6月期第3四半期	43,485	28.2	1,090	—	1,217	△51.1	1,227	△41.0
2022年6月期第3四半期	33,919	△10.0	△2,779	—	2,492	—	2,081	55.7

(注) 包括利益 2023年6月期第3四半期 1,251百万円 (△40.2%) 2022年6月期第3四半期 2,094百万円 (52.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年6月期第3四半期	39.77	—
2022年6月期第3四半期	67.46	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年6月期第3四半期	28,484	6,944	24.2
2022年6月期	29,584	5,820	19.5

(参考) 自己資本 2023年6月期第3四半期 6,880百万円 2022年6月期 5,755百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年6月期	—	0.00	—	5.00	5.00
2023年6月期	—	0.00	—	—	—
2023年6月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2023年6月期の連結業績予想(2022年7月1日~2023年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	59,800	28.3	1,700	—	1,800	△25.1	1,800	△29.0	58.32	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 社(社名) 、除外 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年6月期3Q	31,931,900株	2022年6月期	31,931,900株
2023年6月期3Q	1,052,482株	2022年6月期	1,079,282株
2023年6月期3Q	30,855,650株	2022年6月期3Q	30,852,618株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想等の将来に関する記述は、当社が発表日現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります

○添付資料の目次

1. 四半期連結財務諸表及び主な注記	2
(1) 四半期連結貸借対照表	2
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(追加情報)	6
2. その他	7
継続企業の前提に関する重要事象等	7

## 1. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,405	1,903
売掛金	650	1,022
商品及び製品	555	572
原材料及び貯蔵品	803	989
その他	735	679
流動資産合計	6,150	5,167
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	9,937	9,561
機械装置及び運搬具（純額）	1,227	1,302
工具、器具及び備品（純額）	140	284
土地	7,244	7,244
リース資産（純額）	13	11
建設仮勘定	63	196
有形固定資産合計	18,627	18,601
無形固定資産	424	358
投資その他の資産		
敷金及び保証金	2,647	2,567
その他	1,735	1,790
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	4,381	4,357
固定資産合計	23,433	23,317
資産合計	29,584	28,484

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,409	1,983
短期借入金	500	400
1年内返済予定の長期借入金	2,827	2,497
未払費用	2,492	2,002
未払法人税等	625	89
未払消費税等	269	726
賞与引当金	106	473
その他	873	1,079
流動負債合計	9,103	9,252
固定負債		
長期借入金	10,089	7,727
役員退職慰労引当金	152	152
退職給付に係る負債	1,030	1,052
資産除去債務	3,163	3,156
その他	224	198
固定負債合計	14,660	12,287
負債合計	23,763	21,539
純資産の部		
株主資本		
資本金	100	100
資本剰余金	4,266	4,248
利益剰余金	2,950	4,023
自己株式	△1,613	△1,573
株主資本合計	5,703	6,798
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1	30
土地再評価差額金	△0	△0
為替換算調整勘定	35	38
退職給付に係る調整累計額	15	13
その他の包括利益累計額合計	51	82
非支配株主持分	65	64
純資産合計	5,820	6,944
負債純資産合計	29,584	28,484

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2022年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2023年3月31日)
売上高	33,919	43,485
売上原価	10,795	14,694
売上総利益	23,124	28,790
販売費及び一般管理費	25,903	27,700
営業利益又は営業損失(△)	△2,779	1,090
営業外収益		
受取利息	4	3
不動産賃貸収入	91	122
助成金収入	5,363	112
その他	40	60
営業外収益合計	5,499	298
営業外費用		
支払利息	93	73
不動産賃貸原価	67	81
その他	65	16
営業外費用合計	226	171
経常利益	2,492	1,217
特別利益		
固定資産売却益	16	—
受取補償金	—	59
特別利益合計	16	59
特別損失		
減損損失	37	24
特別損失合計	37	24
税金等調整前四半期純利益	2,472	1,252
法人税、住民税及び事業税	801	94
法人税等調整額	△398	△61
法人税等合計	403	32
四半期純利益	2,069	1,220
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△11	△6
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,081	1,227

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2022年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2023年3月31日)
四半期純利益	2,069	1,220
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1	29
為替換算調整勘定	21	4
退職給付に係る調整額	0	△2
その他の包括利益合計	24	31
四半期包括利益	2,094	1,251
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,101	1,257
非支配株主に係る四半期包括利益	△7	△5

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う会計上の見積り)

新型コロナウイルス感染症について、今後の収束時期や影響の程度を予測することは困難な状況にありますが、新型コロナウイルス感染症の影響は当連結会計年度以降も一定程度は残るものと想定しております。

当社グループは、この仮定のもと、固定資産の減損会計の適用や回収可能と認められる繰延税金資産の算定などの会計上の見積りを行っております。

しかしながら、当該仮定は不確実であり、新型コロナウイルス感染症の状況やその経済への影響が変化した場合には、将来において追加の損失が発生する可能性があります。

なお、当該仮定は前連結会計年度から変更ありません。



## 2. その他

### 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響に伴い売上高が減少し、継続して営業損失を計上していたことから、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しておりました。

このような状況を解消するため、当社は、事業の収益改善等の施策を行い、財務状況の安定化を図ってまいりました。

収益改善対策として、エネルギー価格や原材料価格の高騰、為替相場における円安の進行に伴うコスト上昇に対応するため、販売価格の見直しを実施いたしました。

また、収益を最大化させるため、店舗毎の状況に応じた営業時間の見直しや、それでも収益改善が見込めない店舗の退店により、全社的な収益性の改善を進めました。

その結果、新型コロナウイルス感染症の影響による大規模な経済停滞からの回復が進んだことも合わせ、当第3四半期連結累計期間において営業利益1,090百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益1,227百万円を計上いたしました。また、第4四半期連結会計期間以降も引き続き営業利益の計上を見込んでおります。

当社グループとしては、これらの状況から当第3四半期連結会計期間末日において、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせる事象又は状況は解消したと判断しております。